

景況レポート

2025年4～6月期調査

景気動向の概況

業況DIは
前期比2.6ポイントマイナス

2025年4月から6月にかけて、日本経済は緩やかな回復基調を維持しているものの、海外経済の不透明感や物価上昇の影響が続いています。今期の全業種業況DIは▲14.3の前期比2.6ポイントマイナスとなり、全体の業況判断としてはほぼ横ばいとなりました。業種別には、製造業が米国の通商政策への警戒感の高まり等により、輸出比率の高い企業を中心に悪化したほか、卸売業、不動産業も悪化しました。一方、建設業については比較的堅調で横ばい、小売業やサービス業はやや改善し、持ち直しの動きが見られます。

今後も、海外経済の動向やコスト増への対応、人手不足やデジタル化など、中小企業を取り巻く課題が引き続き山積しています。各企業には、外部環境の変化を注視しつつ、柔軟な経営判断と基盤強化が求められています。

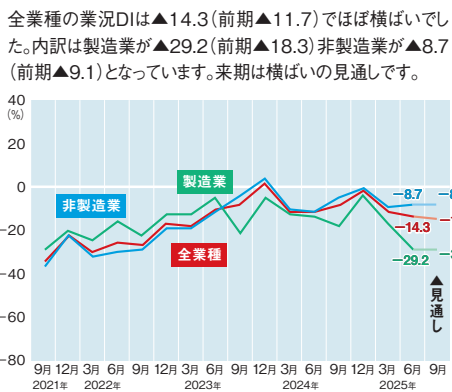
調査要領	合計			製造業			小売業			建設業			不動産業			卸売業			サービス業		
	依頼先数	回答数	回答率	依頼先数	回答数	回答率	依頼先数	回答数	回答率	依頼先数	回答数	回答率	依頼先数	回答数	回答率	依頼先数	回答数	回答率	依頼先数	回答数	回答率
	1572社	412社	26.2%	353社	113社	32.0%	249社	50社	20.1%	285社	80社	28.1%	117社	28社	23.9%	283社	74社	26.1%	285社	67社	23.5%

調査時点／2025年5月14日～6月4日
調査依頼先／当庫取引先
調査方法／郵送調査
調査対象期間／[今期]2025年4月～6月
[前期]2025年1月～3月
[来期]2025年7月～9月
分析方法／「増加」(上昇)したとする企業の占める構成比と、「減少」(下降)したとする企業の構成比との差(DI)により分析を行った。
※DI: Diffusion Index (デフュージョン・インデックス)

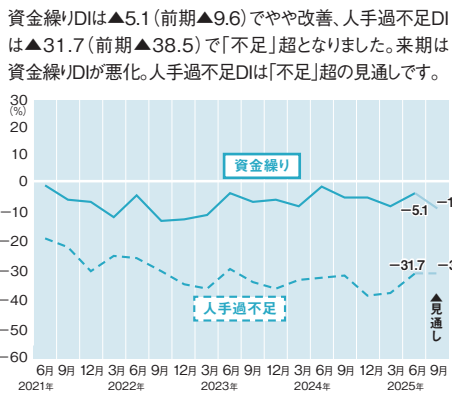
全業種総合DI

業況はほぼ横ばい、
来期は横ばいの見通し

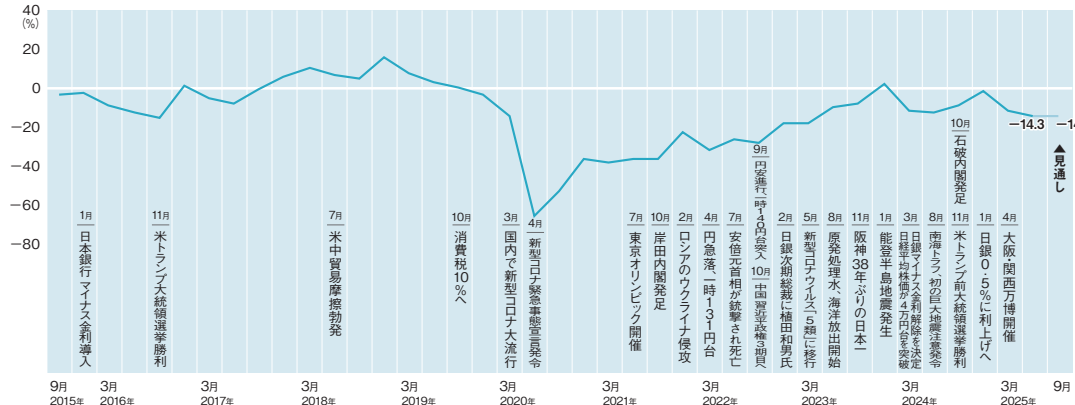
業況DIの推移



資金繰りDI：人手過不足DI



10年間の推移(業況DI)



製造業

業況は悪化、
来期は横ばいの見通し

前期
今期
見通し

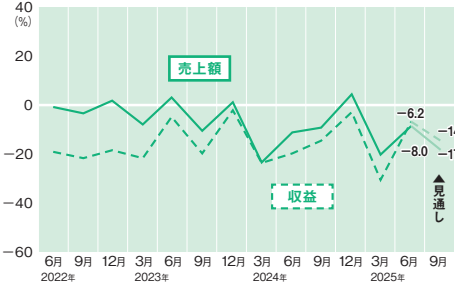
建設業

業況は横ばい、
来期はやや改善の見通し

前期
今期
見通し

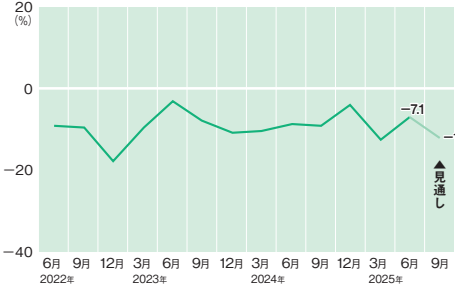
売上額・収益DI(前期比)

売上額DIは改善、
収益DIは大幅に改善



資金繰りDI

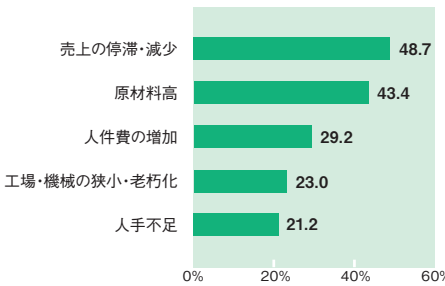
資金繰りDIはやや改善



10年間の推移(業況DI)

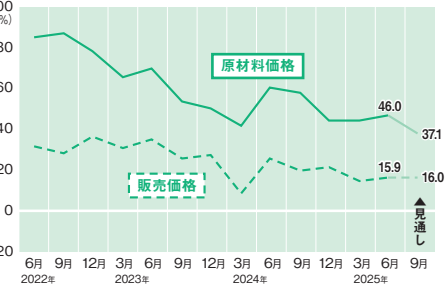
経営上の問題点

売上の停滞・減少と
原材料高が課題



価格DI

原材料価格DIはほぼ横ばい、
販売価格DIは横ばい



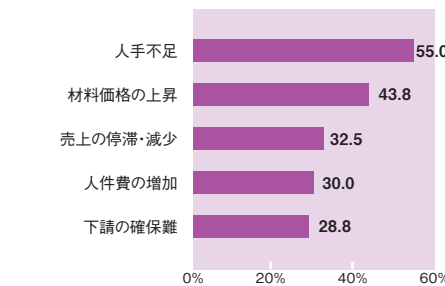
お客様の声

●大手企業は人材不足等の理由で賃金を大幅に引き上げしているが、中小企業ではとても対応出来ない。(尼崎市 製造業)

●業界はまだコロナ禍以降、不況が続いている。ユーザー[自動車・工作機械]全般に元気がなく受注数が増えない。(川西市 精密機械製造業)

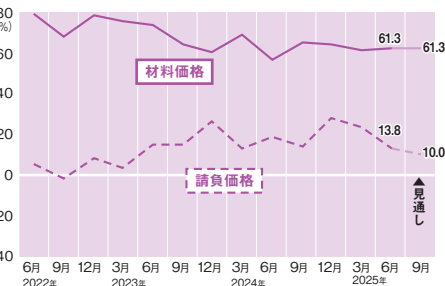
経営上の問題点

人手不足に加え
材料価格の上昇が課題



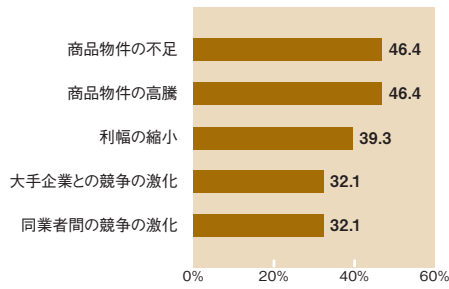
価格DI

材料価格DIは横ばい、
請負価格DIは低下

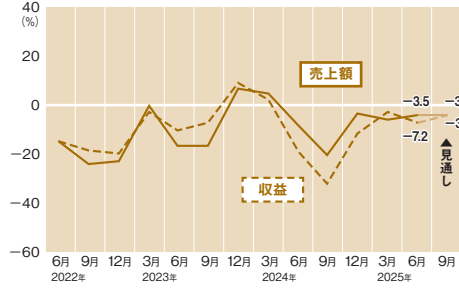


お客様の声

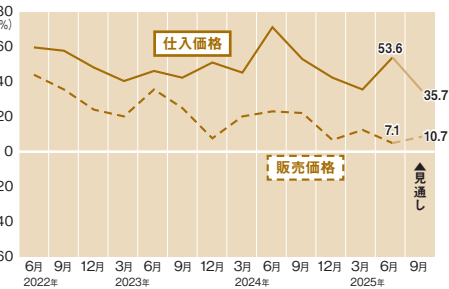
●経済の安定、成長がより豊かな社会生活の基盤になると思うが、インバウンド需要頼みだけではダメだと思う。(尼崎市 建設業)



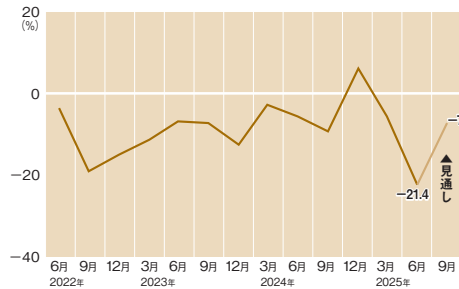
経営上の問題点
商品物件の不足に加え
商品物件の高騰が課題



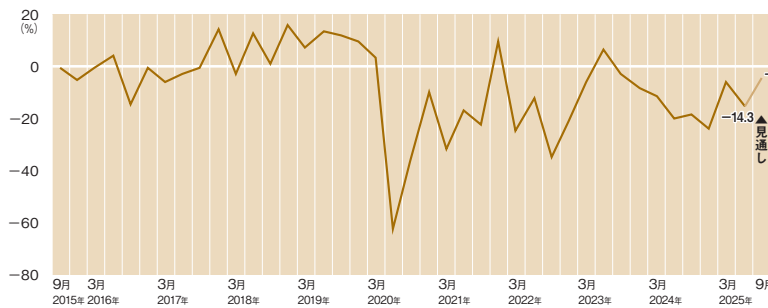
売上額・収益D-I（前期比）
売上額D-Iはほぼ横ばい、
収益D-Iは悪化



価格D-I
仕入価格D-Iは大幅に上昇、
販売価格D-Iはやや低下



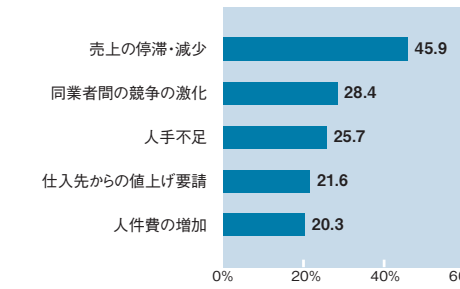
資金繰りD-I
資金繰りD-Iは大幅に悪化



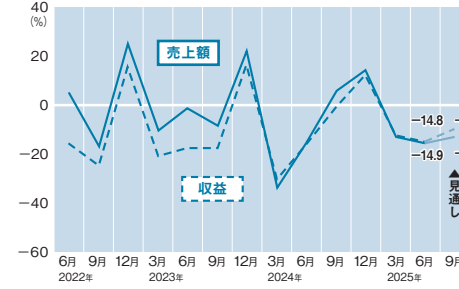
10年間の推移（業況D-I）

不動産業

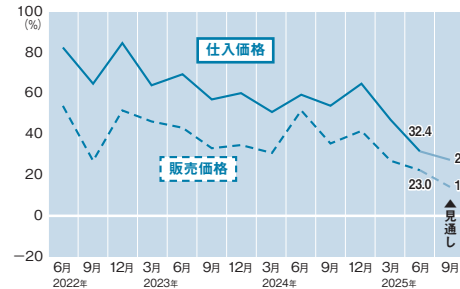
業況は悪化、
来期は改善の見通し



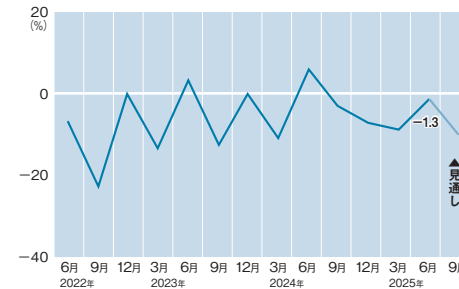
経営上の問題点
売上の停滞・減少が
一番の課題



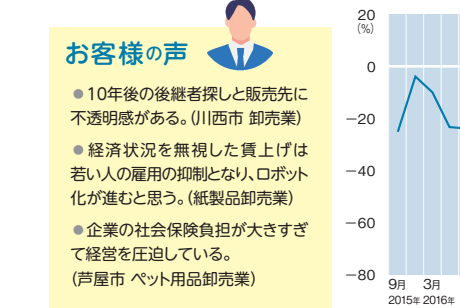
売上額・収益D-I（前期比）
売上額D-Iはほぼ横ばい、
収益D-Iもほぼ横ばい



価格D-I
仕入れ価格D-Iは大幅に低下、
販売価格D-Iはやや低下



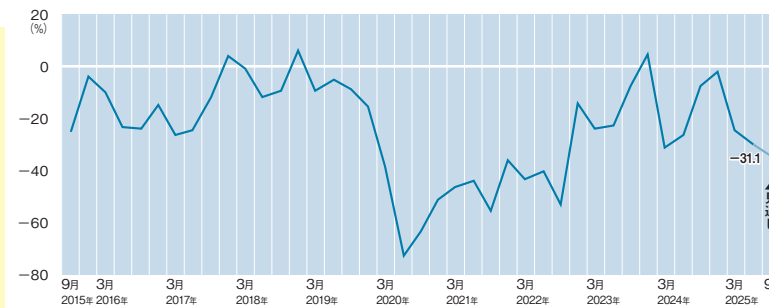
資金繰りD-I
資金繰りD-Iはやや改善



10年間の推移（業況D-I）

お客様の声

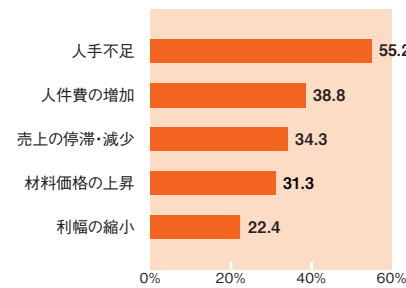
- 10年後の後継者探しと販売先に不透明感がある。(川西市 卸売業)
- 経済状況を無視した値上げは若い人の雇用の抑制となり、ロボット化が進むと思う。(紙製品卸売業)
- 企業の社会保険負担が大きすぎて経営を圧迫している。(芦屋市 ペット用品卸売業)



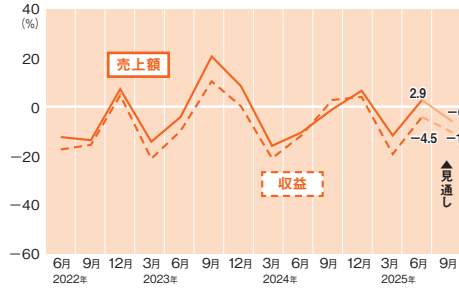
10年間の推移（業況D-I）

卸売業

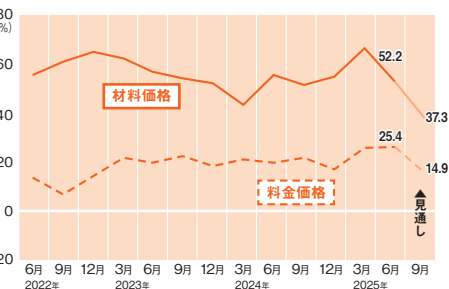
業況は悪化、
来期も悪化の見通し



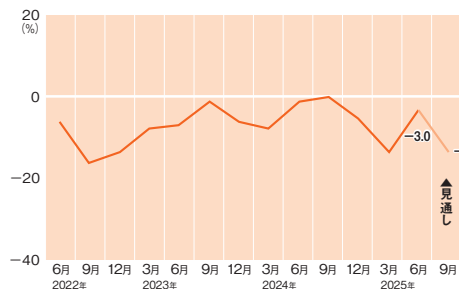
経営上の問題点
人手不足が
一番の課題



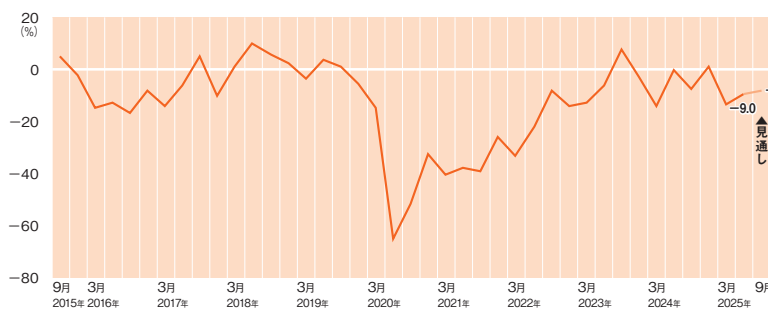
売上額・収益D-I（前期比）
売上額D-Iは大幅に改善、
収益D-Iは大幅に改善



価格D-I
材料価格D-Iは低下、
料金価格D-Iは横ばい



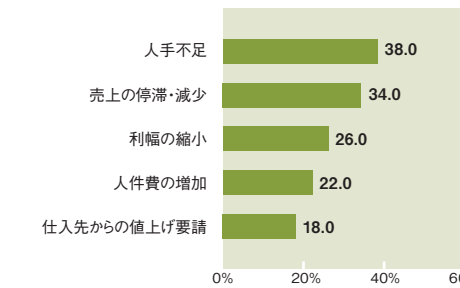
資金繰りD-I
資金繰りD-Iは改善



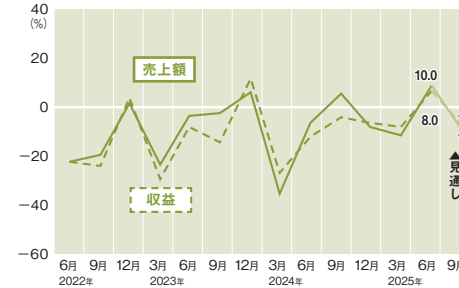
10年間の推移（業況D-I）

サービス業

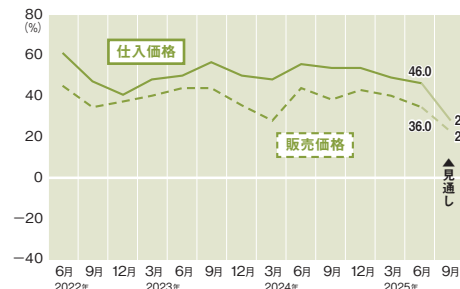
業況はやや改善、
来期は横ばいの見通し



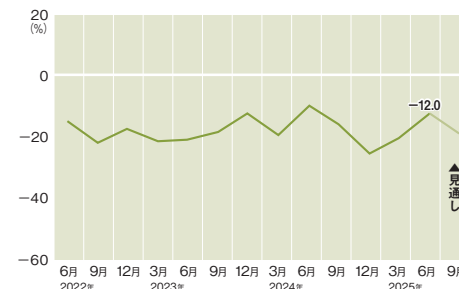
経営上の問題点
人手不足に加え
売上の停滞・減少が課題



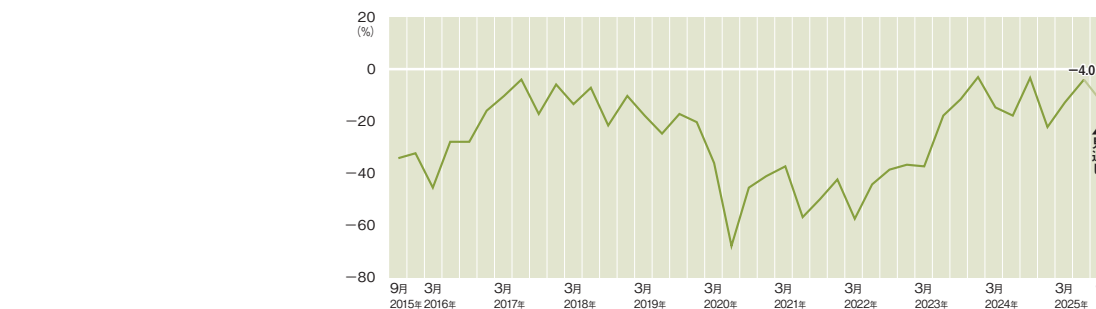
売上額・収益D-I（前期比）
売上額D-Iは大幅に改善、
収益D-Iも大幅に改善



価格D-I
仕入価格D-Iはやや低下、
販売価格D-Iもやや低下



資金繰りD-I
資金繰りD-Iはやや改善



10年間の推移（業況D-I）

小売業

業況はやや改善、
来期は悪化の見通し



お客様の声

- 助成金等についてはあれば少しは助かるが、根本的に元請けが適正運賃や対価を出す必要があると思う。例えばサーチャージの義務化など。(長洲支店 運送業)